



Hope Lights Our Way

希望の道を、つなごう

ギリシャ・オリンピアの太陽光で採火された炎を、ギリシャ国内と開催国内でリレーによって開会式までつなげる聖火リレー。オリンピックのシンボル、「聖火」を掲げることで平和・団結・友愛といったオリンピックの理想を表現し、関心と期待を呼び起こす役目を持っている。約1万人が参加し、121日間かけて47都道府県を巡る今回の聖火リレー。多くの人たちの希望が詰まった聖火は力強く大きな光となって、7月23日に国立競技場へ届けられる。困難に立ち向かうすべての人がその壁を乗り越え、私たちが未来へつなぐ「希望の灯」として――。

後方から支えた4人のサポートランナー



写真右から、敬称略▼
番園 忍(中種子中)、市菜 亜美(田代小)、森田 悠斗(池田小)、黒田 悠斗(大原小)

FUKUSHIMA

TOKYO

聖火リレーを盛り上げるため開催地域から参加したサポートランナー。錦江町からは4人の子どもたちが参加し、後方から聖火ランナーを応援した。

※昨年まで番園さんは神川小、黒田さんは大原小に在学していた。

東京オリンピック聖火リレー 鹿児島

初日は志布志港で出発式を開催し、2日目は聖火の到着を祝うセレブレーションが指宿市で行われた。県内13市1町で行われ、著名人では女優の上白石萌歌さんやタレントの恵俊彰さんが参加した。

KAGOSHIMA

「子どもたちを笑顔で支える先生に」

多くの方々に応援してもらい本当に貴重な体験をさせていただきました。不安なニュースで気持ちが沈んでいる今こそ希望の聖火をつなぎ、みんなで乗り越えたいです。将来の夢は、常に笑顔で絶やさず子どもたちを支えられる養護教諭。感謝の気持ちを忘れず、聖火リレーで得た自信を胸に夢に向かって走り続けます！

▶第4区間は関係者のみに入場が制限されたため、応援に行けない田代中の生徒たちはそれぞれの思いを書き込んだメッセージボードを作成し、ライブ配信を通じて声援を送った。



東京五輪 聖火ランナー
姫ヶ迫 あかり さん
(田代中3年 / 上柴立)

「走る」ことが大の苦手だった自分が、スポーツを通じて走ることに楽しさや素晴らしさを知った。聖火をつなぐことで感謝の気持ちを伝えられた」と応募動機を語ったあかりさん。「延期になったときは残念だったが、その分、楽しみに待つ時間が増えた。貴重な機会を与えてくれた、すべての方に感謝したい」と笑顔で振り返った。

太平洋を一望できる佐多岬展望台(南大隅町)で1日目の完走セレモニーが行われた。南大隅町佐多出身で3走者の白石哉雲さんが代表でありさつ。地元の漁業関係者も大漁旗を掲げ、汽笛を鳴らしながら聖火ランナーに声援を送った。

希望の道つないだ 聖火

東京五輪 2020 聖火リレーのコンセプト、「Hope Lights Our Way / 希望の道を、つなごう」。東日本大震災から10年。復興へ向けて一歩ずつ歩みを進める福島をスタートした聖火は、4月27日に鹿児島へ届いた。錦江町から唯一の聖火ランナーとして参加した田代中3年の姫ヶ迫あかりさんも、聖火に込められた思いをつなぎ、希望の道を力強く駆け抜けた――。



伝統×現代技術 東京 2020 オリンピック聖火リレートーチ

聖火リレーで使用されるトーチは、各国のクリエイターがデザインしている。さらに雨や風でも炎が燃え続けるために、技術者たちの工夫が施された最先端の道具でもある。今回の聖火リレーで使われるトーチは、日本人になじみの深い花で、伝統の「桜紋」をモチーフにしたデザインに、最新の「アルミ押出成形」を用いた継ぎ目のない美しいトーチ。右の写真は、実際にあかりさんが使用したトーチで非売品。聖火ランナーにのみ購入する権利が与えられている。

◎鹿児島県庁1階ロビーでは聖火リレートーチの展示を行っています。(展示終了期間は未定)

3月25日に福島をスタートした聖火リレー。先月27日に鹿児島へ到着し、28日にかけて2日間、鹿児島県内13市1町、192名のランナーが平和・団結・友愛を象徴する聖火をつないだ。鹿児島大会初日の27日は、6市1町で108人が参加。錦江町から田代中3年の姫ヶ迫あかりさんが唯一選ばれ、本土最南端から太平洋を望む第4区間で聖火を掲げ、絶景が広がる佐多岬を笑顔いっぱい駆け抜けた。大隅南部にゆかりのある3人の中高生が選出され、第1走者は肝付町の飯屋蒼馬さんが担当。北緯31度線広場を出発し、地の吹奏楽や和太鼓演奏、小中学生からの力強い声援を受けながら、第2走者のあかりさんに聖火をつないだ。

聖火をつなぐとき、ランナー同士で事前に話し合っただけのポーズと掛け声で受け渡す「トーチキス」は、鹿児島のシンボルを世界に発信したいと「さくらじま」に決定。稜線をイメージしたポーズと掛け声に照れながらも、充実感に満ちた満面の笑みに、会場中が笑顔に包まれた。